

## ～藤枝エコノミックガーデニング～ 第25回 藤枝メジャーデビュー・ラボ ～

■概要:自由に語り合える場をつくり、地元企業の販売促進や起業のヒント等を見つける。

■主催:藤枝市 協力:NPO 法人 ぐらしまち継承機構

■目標:参加者の商品やサービスの販売促進を目指そう!

起業のためのビジネスプランを皆で磨き上げよう!

参加者(の会社)のことを知り、幸運の偶然の出会いの確率を高めていこう!

■日時:2014年12月26日(金)18:30～21:00

■場所:藤枝市生涯学習センター第三学習室

■ファシリテーター:ことのは塾 山梨栄司氏

■参加者:地域の事業者および起業志望者のみなさん10名

■話題1 抹茶・和菓子・その周辺にあるものを、どうビジネスにしていけるかアイデアを出そう!

### 【本日のワーク】

まずは実際に「表千家」のお点前を体験してみよう!

#### 『表千家』の作法とは

##### ・お菓子を取る

懐紙を配ったので、「お先に」と言っていただく  
1枚ひっくり返すと、汚れたところがない(きれいな所が出る)  
理にかなっている  
お箸持って受け、まわして手前から取る  
汚れてなくても拭いて返す(清める)



##### ・お菓子をいただく

おまんじゅうは4分の1ほどの大きさにして食べる  
今日のお菓子は年の暮れなので縁起のいい「かぶら」のおまんじゅう  
お茶碗が来る前に食べきってしまう  
懐紙は使った方を内側に半分に折り、胸に入れる(手を添えないでスッと入れる)

##### ・お抹茶をいただく

「お先にちょうだいいたします」(実際には目礼だけで可)  
右手を出してしっかり必ず片手で持つ  
左手底を支える(親指でしっかり押さえる)  
正面をよけて左に45度回す  
三口飲んで最後はシュッと音を立てて飲みきる  
親指と人差し指で拭く  
正面に戻す  
肘をついた形で茶器を眺める  
裏もしっかり見る(いいお茶碗は名前が入っている)



\*日本人として、機会があればお茶会には積極的に参加してほしい

\*最近では幼稚園や小学校で体験させるところが増えてきている

\*抹茶のお点前は珍しくて素人受けするが、煎茶のお点前も存在する(静岡が家元)

## 《参加者意見》

### ○外国人に向けて

- ・外国人の泊まるホテル、旅館に出張お点前
- ・外国人向けの茶会
- ・お花見の席に出張お点前
- ・外国人観光客に紹介(和服の着付けサービスとセットで)
- ・一日花嫁修業(修了時にお祝いの和菓子を進呈)
- ・日本の文化に関心がある外国人観光客に所作を学んでもらう
- ・外国人に人気のラーメンとコラボして、食後のデザートに和菓子を出す

### ○静岡空港で

- ・到着した外交供人観光客にウェルカムドリンクとして抹茶と和菓子をサービス
- ・抹茶以外のお茶もテイスティング
- ・気に入ったものを購入してもらう

### ○観光

- ・和菓子屋めぐり(藤枝スイーツマップ)
- ・大井川鉄道や蓮花寺池公園などの乗り物に乗っていただく

### ○場所

- ・藤棚やお花見の席で立礼式
- ・新茶の季節に茶畑に茶席を設ける
- ・パワースポットでゆったりした時間を
- ・古民家ぶらり
- ・刑務所で受刑者に
- ・駅前に時代劇風「茶屋」をつくる
- ・介護施設でお茶会の定期開催
- ・様々な種類の抹茶が飲める「抹茶カフェ」
- ・静岡空港で和菓子とセットでワンコインで



### ○動画で配信

- ・体験動画配信(英語で世界へ)
- ・礼儀作法の美しさを外国人向けに

### ○イベントアイデア

- ・濃い茶飲み大会(レベル1~10どこまで飲めるか)
- ・婚活イベントとして
- ・一億円の茶器で飲んでみよう
- ・陶芸教室とセットで、自分のつくった器でお茶を飲む
- ・自分でつくった和菓子でお茶を飲む
- ・商店街の和菓子屋・お茶屋をめぐるスタンプラリー
- ・利き茶コンテスト
- ・歴女を対象に「戦国武将にちなんだ茶道のいろは」
- ・初心者のための出張お茶会
- ・なんらかのワークショップとセットで開催
- ・バレンタインデーのような藤枝独自の抹茶と和菓子を楽しむイベントデーをつくる

### ○体験

- ・和菓子をつくる体験会
- ・体験型修学旅行(お茶摘み~製茶~お茶会)

### ○和装と一緒に

- ・着付け教室で和服を着たあとに、そのままお茶会

○商品アイデア

- ・外国人が好みそうなカラフルな和菓子
- ・和菓子のフリッター(油で揚げる)
- ・注文者にちなんだテーマの和菓子をつくってくれるサービス
- ・抹茶以外には合わない、抹茶専用の菓子
- ・和菓子の手づくりキット
- ・ペットボトルで気軽に飲める抹茶
- ・子ども向けにキャラクター茶碗

○男性に

- ・抹茶男子、高校男子茶道部などで盛り上げる

○キャラクター

- ・わがっしー

○コラボレーション

- ・スターバックスなどとコラボして、逆に和の良さをアピールする
- ・お菓子が食べられるお茶屋
- ・和のイメージがあるお店(和雑貨・ギャラリーなど)で茶席を設ける
- ・陶器の展示会で

○スポーツシーンに

- ・試合前に集中力を高めるために

○子どもに

- ・小中学生にしつけと礼儀作法を学ばせる
- ・学校給食に抹茶、和菓子を取り入れる

○企業に

- ・社長自身がお茶を点て、従業員にふるまう
- ・新入社員研修の一環として

※和菓子は形が自由だから、つくる側の想いを反映しやすい

■話題2 紅家さんが『志太天神ひな街道』の際に出すお菓子はどんなお菓子がいいか？

『志太天神ひな街道』とは

- ・次回で3回目(3月から5月にかけて開催)
- ・全国的にも珍しい習慣で、男の子(特に長男)のひな祭り
- ・瀬戸川から白子まで、旧道沿いや茶町(瀬戸谷でも1軒)で100軒超が参加
- ・5月はお茶の作業が忙しく、端午の節句を祝ってられないための風習か
- ・お雛さまを飾らない家が増えたので、飾る習慣を取り戻し、まちおこしにも役立てたい
- ・多くは江戸時代に作られた土人形で、残っているものはわずかで貴重(藤枝郷土博物館で同時期に展示)

\*とりわけ藤枝市民に地元藤枝の文化を知ってほしい

\*ひな人形自体の魅力は十分あるので、人集めの手法が肝心

\*低予算のなか協力してくれるお店の商売繁盛につなげたい

\*志太天神にちなんだ商品を開発してみたい

## 《参加者意見》

### ○焼印や型を使って

- ・紅白のおまんじゅう(紅:お姫様、白:天神様)
- ・黒かりんとう「天神様のヒゲ」
- ・ヒゲまんじゅう(焼印)
- ・天神どらやき(焼印)
- ・ももいろのおまんじゅう「お姫様のほっぺ」
- ・ひなまつりの小物を模したお菓子(弓矢など)
- ・注文者の家紋を入れたおせんべい
- ・元気な男の子の顔(笑い顔、泣き顔、怒った顔など)が描かれたお菓子

### ○人形

- ・巨大なお菓子人形をつくり、みんなで分けて食べると健康になるというストーリー
- ・大きな人形焼きをウィンドウに飾り、中のあんこは何キロあるかクイズ

### ○天神様のイメージで

- ・天神様のお面をつくって流行らせる
- ・入学祝いのお菓子として(学業の神様)
- ・お人形に備えるものとして、天神様にちなんで牛や飛び梅のお菓子
- ・天神様の持つ笏(しゃく)をかたどったクッキー
- ・冠位十二階風の冠をかたどった色鮮やかな菓子

### ○商店街、まち全体で

- ・ひな街道参加店舗でスタンプラリーを実施
- ・いくつかの店舗を回ることによって完成するお菓子セット
- ・店員がお姫様、天神様のコスプレをする
- ・「桜の節句」という独自のイベントをつくる

### ○その他

- ・フォーチュンクッキーのようにおみくじが入ったお菓子
- ・和服の生地でお菓子をラッピングする
- ・お雛様をかたどったお惣菜
- ・静岡といえば家康公なので、“家康のみかん”をかたどった和菓子
- ・志太泉など地域の地酒の酒粕をつかったあられ
- ・自宅で作るあられセット



## 【本日のまとめ】

- ・天神様の時期には、いつもパンを焼いている。こういうものがあつたらいいなといつも考えていたアイデアが今日は役に立った。お茶と和菓子はやはり、外国の方に向けて発信していきたい。いろんな繋がりをそうやって広げていきたい。
- ・抹茶のお点前ありがとうございました。何をやるにも所作が大事ともう一度改めて考えさせられた。
- ・お茶会は、やってみたくが機会がなかった。今日は楽しかった。
- ・所作はふだん意識してなかった。意識すると心遣いが生まれてくる。また挑戦したい。たくさんアイデアが出たので、なにか形になるといいと思う。
- ・知らないこと多かった。勉強になった。大事に器を扱うこととか。
- ・2回目の参加。普段まったく考えない事ばかりで、この場で考える体験が貴重だと思った。頭がフル回転していた。いい刺激をありがとうございます。
- ・藤枝でこんなにひな天神が盛んだとは知らなかった。
- ・前回初めて参加。ひな祭りに合うお菓子やお茶の事は仲間内でよく話すが、お茶のことばかりでお菓子という視点が斬新だった。考えるという作業が刺激になった。

- ・自分だけではいつも同じ考えに落ち着いてしまう。新しいアイデアを参考に、ひな天神に向けてチャレンジしたい。
- ・抹茶に親しむ入口として、器やお菓子があるならば広めていきたい。
- ・普段は仲間内で楽しむだけだったが、初めての方々とお茶をいただく機会が楽しかった。
- ・教室に入らないと教えてもらえないという入口は非常に狭い。DVDを作ればという意見があったが、結構月謝も高く、ただで教えるという空気ではないが、お茶をたのしむ人を増やすためにはそういうことも必要かもしれないと思った。